

第 6 回教育委員会会議録

日 時	平成 27 年 5 月 27 日 開会 13 : 30～閉会 15 : 40
会 場	教育長室
出 席 者	山 田 律 子 委員長 佐々木 義 朗 委員 阿 部 弓 枝 委員 明 石 光 正 委員 宮 崎 肇 教育長
参 与	島 倉 弘 行 教育部長 澤 田 徹 教育部次長 西 野 典 男 教育部次長 (学校指導担当) 荒 川 裕 昭 企画総務課長 渡 邊 誠 司 学校教育課長 山 根 祥 二 青少年課長 竹 内 浩 二 生涯学習課長 佐々木 幸 廣 学校給食センター長 村 井 安 之 文化施設課長
書 記	堀田 企画総務課総務係長
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

議題及び会議の概要

委員長	<p>ただ今から、平成 27 年第 6 回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>本日の議題中、議案第 2 号千歳市奨学生の選考及び奨学金額の決定について、議案第 3 号千歳市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について、議案第 4 号千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱任命については、個人情報が含まれますので、秘密会といたします。</p> <p>秘密会の件についてよろしいでしょうか。</p>
委員	一同了承
委員長	それでは、会議録の承認をお願いいたします。
総務係長	<p>前回、4 月 24 日に開催されました第 5 回教育委員会会議は議案が 5 件、議案第 1 号千歳市立学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定について、議案第 2 号千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、議案第 3 号教育委員会職員の任免について、議案第 4 号千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱について、議案第 5 号 平成 27 年度学校評議員の委嘱について、以上 5 件の議案は全て原案通り議決しております。また、報告は、報告第 1 号千歳市立小学校におけるフッ化物洗口の実施について、報告第 2 号ミアーズ中学校との交流事業について、報告第 3 号小学生・中学生のインターネット利用実態調査の結果について、報告第 4 号千歳市教育に関する大綱の素案についての 4 件でございました。</p>
委員長	会議録承認の件よろしいですか。
委員	一同了承
委員長	教育長から報告をお願いいたします。
教育長	<p>5 月 18 日の校長会にてお話しした件についてご報告いたします。</p> <p>1 点目は、生活習慣改善の取組推進ということで、子どもたちの生活習慣改善の取組は学力向上のみならず、いじめの防止やインターネットのコミュニティサイト利用による被害防止に大変重要な役割を持つことから、千歳市 P T A 連合会による千歳市家庭生活宣言と連携し、保護者への啓発等に積極的に取組むよう話しました。</p> <p>2 点目は、教頭及び主幹教諭候補者の発掘で、近年、教頭昇任試験の受験者が減少傾向にあり、特に、27 年度には大量の校長退職者が見込まれ、人材確保が喫緊の課題となっています。教頭は学校の要であり、将来の校長候補であることから、学校課題が山積している現状においては、より適任の人材を確保</p>

	<p>する必要があるため、推薦について早めの取組をお願いしました。また、主幹教諭についても候補者の発掘をお願いしました。</p> <p>3点目は、アクティブスクール事業、外国語活動の取組について、平成27年度は小学校10校、中学校5校が取り組んでおり、今後見込まれる小学校での教科化や外国語活動対象学年の拡大、中学校での英語による授業などを見据え、積極的な取組をお願いしました。</p> <p>連絡事項として平成27年度第2回定例市議会の日程と平成27年度千歳市・指宿市青少年相互交流事業の日程について連絡しました。</p>
委員長	<p>教育長からの報告がありました。ご質問等ございますか。</p> <p>それでは、議案第1号、平成27年第2回千歳市議会定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について説明をお願いします。</p>
企画総務課長	<p>議案第1号、平成27年第2回千歳市議会定例会教育行政執行方針及び教育行政報告についてご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。平成27年第2回千歳市議会定例会に、平成27年度教育行政執行方針及び教育行政の諸般について報告するため、本案を提出するものであります。</p> <p>～教育行政執行方針及び教育行政報告を読み上げ～</p> <p>以上、提案内容についてご説明申し上げます。ご審議の程宜しくお願いいたします。</p>
委員長	<p>議案第1号についてご質問やご意見はございますか。</p> <p>行政報告は簡潔な執行方針に比べて丁寧すぎる表現が多くあるように思いますが。</p>
教育長	<p>表現を修正します。</p>
委員長	<p>文体を修正いただくということで、その他内容についてはよろしいですか。</p>
委員	<p>一同了承（原案可決）</p>
委員長	<p>次に議案第2号、平成27年度千歳市奨学生の選考及び奨学金の額の決定について説明をお願いします。</p>
委員	<p>一同了承（秘密会：原案可決）</p>

委員長	次に議案第3号、千歳市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について説明をお願いします。
委員	一同了承（秘密会：原案可決）
委員長	次に議案第4号、千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱及び任命について説明をお願いします。
委員	一同了承（秘密会：原案可決）
委員長	次に議案第5号、千歳市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について説明をお願いします。
文化施設課長	<p>議案第5号、千歳市立公民館条例の一部を改正する条例の制定についてご説明申し上げます。</p> <p>提案理由であります。住居表示整備事業の施行に伴い、千歳公民館長都開拓分館の位置の改正を行うことから、平成27年第2回定例市議会に上程するため、本案を提出するものであります。</p> <p>～新旧対照表により説明～</p> <p>附則として、この条例は、公布の日から施行することとしております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
委員長	議案第5号についてご質問等ございませんか。
委員	一同了承（原案可決）
委員長	次に報告第1号、千歳市奨学生選考委員会委員の任命について説明をお願いします。
企画総務課長	<p>報告第1号、千歳市奨学生選考委員会委員の任命についてご説明申し上げます。</p> <p>千歳市奨学生選考委員会委員のうち千歳市職員の宛て職である保健福祉部次長が平成27年5月1日付け人事異動により変更となったため、後任委員の任命について千歳市教育委員会事務委任等規則第3条第1項の規定に基づき教育長をして代理決定したので、同規則第3条第2項に基づき報告するものであります。</p> <p>報告は、以上でございます。</p>

委員長	報告第1号についてご質問やご意見はございませんか。
委員	報告第1号（報告済）
委員長	次に報告第2号、平成27年度補正予算について説明をお願いいたします。
企画総務課長	<p>報告第2号、平成27年度補正予算について説明いたします。 奨学基金に係る寄附金及び積立金を補正するものであります。 歳入の寄附金につきましては、寄付採納の内訳のうち、平成27年度採納分である9万円から当初予算に計上している1万円を差し引いた8万円を補正するものであります。</p> <p>歳出の積立金につきましては、平成27年2月24日から平成27年5月1日までにありました15件の寄附採納額、259万円から当初予算に計上している1万円を差し引いた258万円を奨学基金積立金に計上するものであります。</p> <p>なお、これによりまして、補正後の基金残高は66,951,284円となります。 続きまして、給食センターから説明がございます。</p>
学校給食センター長	<p>歳出予算のうち新給食センター整備事業費として24万1千円を追加するものです。</p> <p>補正理由としましては、現在の学校給食センターは、平成5年8月に供用開始し、その後平成9年に文部科学省が新たに学校給食衛生管理基準を制定したため、調理場内の汚染区域と非汚染区域の区分、室内や食材の温度管理、喫食までの時間などが基準に適合していない状況であり、現在の施設規模では、基準に適合した改修や新たな調理機器の導入ができないことから、調理業務、献立作成等に制約があるほか、食物アレルギー除去食などの対応ができない状況にあります。</p> <p>このことから、これらの課題を解決し、より安全で安心な、おいしい給食の提供ができるよう、新たな給食センターの移転新築に向けた検討を行うための調査費を計上するものであります。</p> <p>今年度は、PFI事業の先進都市視察や道内の先進地を視察し、整備手法や必要な機能、調理設備、施設規模や面積等を調査し、基本構想策定のための資料収集を行うこととしており、新給食センター整備に係る先進都市視察やPFI事業先進地視察等の予算を計上するものであります。</p>
委員長	先進都市視察の内容についてお聞かせください。
学校給食センター長	浦安市につきましては、民間を活用したPFI事業で一番最初に行った施設です。鎌ヶ谷市は千歳市と人口規模や児童生徒数が同程度であり昨年度にPFI

<p>委員長</p>	<p>I 事業でセンターの供用を開始している都市であります。</p> <p>報告第 2 号についてその他ご質問等ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>報告第 2 号（報告済）</p>
<p>委員長</p>	<p>次に報告第 3 号、平成 26 年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況について説明をお願いいたします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>報告第 3 号、平成 26 年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況について、事業報告とその決算についてご報告いたします。平成 26 年度の公益財団法人千歳青少年教育財団は、教育事業と水族館管理運営事業から成る公益目的事業と、施設賃貸及び販売事業の収益事業を計画に基づき実施しましたので、各事業の概要について説明いたします。</p> <p>学習講座開設事業についてであります。千歳サケのふるさと館学習事業といたしまして、水族館に宿泊しながら、水族館の裏側探検や水族館の仕事について学習するアクアリウム・ナイトツアーを 43 名の参加で実施いたしました。また、夜の水族館探検などを行うアクアリウム・プチナイトは 8 月に 2 回実施し、合計で 31 名が参加しました。</p> <p>早朝の千歳川サケ遡上観察などを行うサーモン・ツアー早起きはサーモンの徳には 24 名が参加するなど 3 つの事業を実施し、98 名の参加がありました。次に、サケふるセミナーは、サケの生態や水生生物などに関する講座及び外部講師による実験教室などを中心に合計 12 回実施し、延べ 112 名の参加がありました。おさかな写生会では 44 名の参加者のうち、1 作品が日本動物園水族館協会北海道ブロック主催の全道幼児・児童画コンクールで入賞いたしました。ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成や、シニア・リーダーの研修、さらには千歳サケのふるさと館学習事業や町内会事業への支援活動を行いました。</p> <p>社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業として、緑の村キャンプ大会や、ちとせっ子雪あそび等を実施し、多くの子どもたちの参加がありました。</p> <p>教育機関支援事業では、総合的な学習に対応し、サケ稚魚放流体験など、地域の特性を生かした多様な学習活動に協力するとともに、学芸員による出前講座等を 17 回、延べ 2,036 名の児童・生徒に実施しました。また、博物館実習で 2 大学 4 名、インターンシップで 1 大学 1 名、職業体験では市内 2 中学校から 6 名の生徒を受け入れました。</p> <p>ここまでの事業が教育事業になりまして、教育委員会所管事業として補助金</p>

を交付しています。

次に、水族館管理運営事業になりますが、ここからの事業による補助金交付の所管は観光スポーツ部になります。

展示では、サケ科魚類をはじめとする常設展示及び企画展示として夏季企画展、千歳川の魚大集合や、スロープを利用して写真や絵画の展示等を実施いたしました。各種体験学習及びイベントでは、10,376人の来館者が参加したサケ稚魚放流体験や、飼育係ちょこっと体験などを多数の参加者により実施いたしました。入館者数についてであります。平成26年度の千歳サケのふるさと館の入館者が91,713人となり、前年度対比70.5%となり、昨年度と比較して38,467人減少しました。このことは、道の駅が4月からリニューアル工事のため休止したこと及び水族館も12月からリニューアル工事のため休館したことによることと考えられています。サポーター会員及び法人賛助会員の募集及び情報提供活動についてであります。市民をはじめ道内外から個人3,510人、法人51社の加入がありましたが、リニューアル工事休館の影響により、昨年度と比較して個人で2,181人、法人で31社の減少となりました。

千歳サケのふるさと館再整備事業につきましては、平成27年度のリニューアルオープンに向け、12月からリニューアル工事に着手しました。また、館の名前を水族館としてわかりやすくするため、サケのふるさと千歳水族館と変更し、ロゴマークも新館名に合わせ変更しました。次に情報提供活動として、サモン通信は通算224号、サモン君だよりは連載922回になりました。

収益事業でございますが、水族館における施設賃貸及び飲食物販売事業については、千歳サケのふるさと館周辺の賑わいづくりや、利用者の利便性向上のため、業務委託や施設賃貸を行いました。この収益事業につきましては平成26年度で廃止となりました。

続きまして、決算報告になります。なお、会計年度の収支を明らかにした事業ごとの収支計算書になりますが、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の3会計を合わせた財団全体の収支決算については、収支計算書総括表をご覧ください。

事業活動収支の部につきましては、事業活動収入計の合計が1億9902万4180円、事業活動支出計の合計1億2710万2691円となり、その差引額が事業活動収支差額として、7192万1489円となっています。

投資活動収支の部につきましては、投資活動収入計の合計が2183万7031円、投資活動支出計の合計が9375万7137円となり、その差引額が投資活動収支差額として、マイナス7192万106円となっています。

この結果、事業活動収支差額の合計7192万1489円と、投資活動収支差額の合計マイナス7192万106円との合算額が当期収支差額1,383円となり、前期繰越収支差額20万5873円との合計額が次期繰越収支差額の20万7256円となります。

	<p>詳細につきましては、各事業の収支計算書等をご覧願います。 報告第2号の説明は以上でございます。</p>
委員長	<p>報告第2号についてご質問やご意見はございますか。</p>
佐々木委員	<p>サケのふるさと館の入管誘致はどこがされるのですか。</p>
教育長	<p>これまでどおり、千歳青少年教育財団が行います。ただ、その財団の市の所管が観光スポーツ部に変更になっております。</p>
委員長	<p>その他よろしいですか。</p>
委員	<p>報告第3号（報告済）</p>
委員長	<p>次に報告第4号、学校適応指導教室おあしす通級生の卒業後の進路について説明をお願いいたします。</p>
青少年課長	<p>報告第4号、学校適応指導教室おあしす通級生の卒業後の進路についてご報告申し上げます。 平成24年度からの過去3年間についてご説明いたします。 平成24年度は中学校の卒業生が9名でしたが、全日制高校が1名、定時制高校が3名、通信制が2名、その他が3名です。 平成25年度は10名で、全日制高校が4名、定時制が1名、通信制が4名、その他が1名です。 平成26年度は16名で、全日制が3名、定時制が3名、通信制が9名、その他が1名でした。 以上でございます。</p>
委員長	<p>報告第4号についてご質問やご意見はございますか。</p>
委員	<p>報告第4号（報告済）</p>
委員長	<p>これをもちまして本日の会議を終了します。 ありがとうございました。</p>